

彩の合気

発行 / 埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟 30 周年記念 講習会・直会のご報告

連盟事務局 佐々木淳一

梅雨空が明けきらぬ去る7月1日（日）埼玉県合気道連盟発足30周年の記念講習会が埼玉県合気道連盟・武正公一会長ご来席のもと合気道道主・植芝守央先生をお招きし、和光市総合体育館・柔剣道場で開催されました。

当日は、曇りのち雨のぐずついたお天気にもかかわらず、県内各地から27団体約250名の参加者が集い、植芝先生のご指導の元で熱心に稽古に取り組みました。7月上旬という季節もありませんが、会場内は参加者の

熱気でヒートアップし、正面打ち一教、正面打ち入り身投げ、横面打ち四方投げ等の基本技を中心とした稽古では、各々がいい汗を流しました。

その後、会場を朝霞市民会館に移し約80名が参加する直会が盛大に行われました。直会では、武正会長の挨拶に続き植芝先生から祝辞を頂戴し、さらに本年度より新理事長に就任した志木合気会・三輪明先生の乾杯で幕を開けました。壇上へ上がったの各道場の自己紹介や新理事長の連盟方針に関する決意表明（詳細は



講習会の様子



第30回 埼玉県合気道連盟講習会 平成 24 年 7 月 1 日 (日) 和光市総合体育館道場

今号の新理事長の挨拶を参照して盛り上がりを見せ、次回主管道場である合気道大宮道場の市塚勇先生のお言葉、そして最後に今回の主管道場でもあった和光道場・川路昌治先生の間東一本締めでお開きとなりました。

埼玉県合気道連盟は、合気道を通じて加盟団体相互の親睦、生命の尊さと人間の尊厳を知り健全なる精神と肉体を養い、合気道の普及・発展で郷土に寄与することを目的として 30 年前に設立されました。現在は加盟 33 団体、本年に入って 3 団体の加盟申請が提出され承認待ち、さらに 2 団体が加盟を準備中で、連盟として着実に拡大しております。

今後は全日本合気道連盟の指導により、埼玉県合気道連盟への加盟団体が急速に増加していくことが予想されます。事務局としても新規加盟道場をはじめとした道場間の円滑な親睦が図れる様に活動をして参りますので、引き続き加盟各道場の皆様にはご協力をお願い申し上げます。



直会の様子

埼玉県合気道連盟 理事長就任にあたり



このたび埼玉県合気道連盟 新理事長を仰せ
付かりました志木合気会 代表の三輪です。

これから3年の任期を務めさせていただきますので
宜しくお願い申し上げます。

三輪 明

おかげさまで、第30回の埼玉県合気道連盟合同講習会は加盟団体の皆様方のご協力のもと、盛大に催すことが出来ました。深く感謝申し上げます。

さて、これから埼玉県合気道連盟（以下県連と略記）として重点的に

新規加盟申請が多くなると思われますので、スムーズな受け入れ態勢の整備です。

第二は、埼玉県体育協会（以下県体協と略記）への加盟です。過去にも県体協への加盟申請をしましたが、加盟条件不備で認められませんでした。従来は県体協の実態を把握できる情報が不足していたように思われます。しかし今年

4月から県体協も公益財団法人となり、情報公開が義務付けられました。今、県体協のホームページを見ると各種の情報が公開されています。以前の加盟申請時より県連の加盟団体も増え、再度県体協への加盟申請を行いたいと思います。数年前に埼玉県立武道館が建て替えられ、立派な設備が整っています。しかし合気道団体は県体協に加盟していない為、大きな大会等でこの施設を利用することが実質的に出来ない状況にあります。特に県連の合同講習会のように多数の人々が参加する為の施設は県内では限られた所しかなく、県立武道館が利用できる環境を整えることは必須と考えます。この県体協加盟の条件として、県連加盟団体の各市町村の体育協会への加盟

が重要要素となります。未加盟の団体は是非加盟申請を頂くようお願い申し上げます。また、新規加盟もしくは加盟申請を出された団体はその情報を事務局までお寄せください。県体協加盟の暁には日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、合気会との共催による「地域社会合気道指導者研修会」を埼玉でも開催できればと思っています。

第三は、埼玉県連加盟団体相互の情報交換を積極的に進めたいと思います。第一歩として機関誌「彩の合気」の定期発行です。その為には加盟各団体の皆様に原稿をお寄せ頂く必要があります。各団体の記念行事等が開催されましたらその記事および写真を積極的にお寄せ下さい。更に、少し時間は掛かると思いますが埼玉県合気道連盟のホームページを立ち上げたいと思っています。簡単な掲示板のものからのスタートを考えています。

埼玉県合気道連盟の更なる発展の為、皆様のご協力をお願い申し上げます。

報 告道場行事

合気道川越道場演武大会 道場長の喜寿および昇段記念

合気道川越道場 師範 島田五郎

川越道場では、5年ごとに本部道場の最高師範のご来臨をいただいて、演武大会や講習会を重ね、これまで植芝守央道主にも3回ほどご来駕をいただくという光栄に浴してきました。

今年には43周年にあたりますので、本部道場の重鎮である入江嘉信先生をお招きして、9月30日(日)に演武大会を開催しました。

前半の一時間は川越道場の少年部と一般部および友好5団体の演武です。時間の限られた中できびきびと演武が行われましたが、入江先生の厳しい評価に耐えられたかどうかは分かりません。後半の一時間は入江先生による稽古指導と模範演武が行



われました。参加50人を前にして、植芝盛平開祖の道言を引用しながら独特の合気理論展開され、その中で特に、相手を導く上で不可欠な中心線の正しい方向づけについて丁寧にご指導いただきました。演武では、青山学院大学OBの若手を受けに回して、鋭い技を披露し観衆を魅了しました。

川越道場の大会の特色は、演武ならびに稽古指導もさることながら、直会にあります。演武会場は近くの中学校をお借りしますが、直会は道場で行います。神前で感謝の気持ちを抱けながら、神酒を酌み交わします。狭い中で道場間の交流が和やかにすすみます。直会の席には、いつも開祖の書(掛軸)をか掲げます。これは道場長が開祖から授かったもので、「武神」と墨書されております。

とても力強くバランスが整い、まるで寸分の隙もない開祖の勇姿が目前に迫ってくるようで、観るものに元気を与え、また初めて目にした人には感動を与えてくれます。直会お料理は会員の手作りりで、会員が朝早くから集まって予め仕込んでおいた食材を力を合わせて調理します。島田家直伝の赤飯とアウトドア名人の芋煮が道場自慢です。赤飯はマキで炊



くので味わいが違います。これは一流料理屋でもぜったいに味わうことができないという自信があります。道場の庭先で調理しながら楽しい会話がはずむことも多く、これも素晴らしい合気ではないでしょうか。

当日は台風が関東地方を直撃する

との予報が出ておりましたので、直
会を早くお開きにすべきところ、気
が優しくて朗らかな入江先生に人気
が集中し手締めが遅れ、大雨の中を
皆様に帰っていただくような羽目に
なってしまうましたが、とても楽し
く愉快な大会となりました。

愛和合講習会

桶川合気会 師範 吉田忠明

桶川桶川合気会は9月30日、桶川
サンアリーナ柔道場に本部から横田
愛明指導部師範をお招きし、第5回
愛和合講習会を開催いたしました。
兄弟道場である合気道と光道場をは
じめ県内外から7団体、県連三輪理
事長にもお出でいただき、総勢60名
による愛和合講習会となりました。
横田師範から、転換から呼吸、諸手
取り、肩取り、正面打ち、後取り、
それらからの基本技を中心に呼吸、
間合いを活かしての体捌きを熱心に
わかりやすくご指導いただきました。
講習会後は、割烹山中に場所を移し、
講習会二部となる懇親会を行いました。
こちらでも参加者それぞれの合

気道への思いが、横田師範を中心
広がり大きな花を咲かせ和気藹々の
中、楽しく無事に終わることができ
ました。
台風上陸の中、ご参加いただきま
した合気道愛和合の道、共に歩ま
んとする道友の皆様にご心より感謝申
上げます。



【さいたま市】 合気道桜道場

合気道桜道場は、平成19年4月3
日に発足、5年目を迎えました。今
年、埼玉県合気道連盟の総会で承認
され、晴れて埼玉県合気道連盟の会
員となりました。

藤田潤一師範のご指導の下、相手
との調和、心と体との調和、自然と
の調和を目指し、楽しく、且つ厳し
く、火曜日と金曜日の19時より21時
まで桜区にある記念総合体育館にて
稽古しております。現在、男性25
名、女性16名の計41名であり、初心
者教室も13回を迎え徐々に会員数も
増えております。最近の初心者教室
では女性の参加者の方が増えている
傾向を感じています。また全日本合
気道演武大会では毎年道場演武をさ
せていただいております。師範を筆
頭にお酒好きも多く、何かと理由を

新 加盟道場紹介

付けては飲み会を開き、そこでもま
た絆を深めております。道場では、
畳の敷き詰めからはじまり、最後
は、畳をしまい、モップかけて終わ
るといふ、手作り感あふれた道場で
す。稽古終了後には、あちらこちら





に出かけた会員のお土産のお菓子をいただきながら談笑することも多く稽古後の楽しみの一つになっていきます。昨年の東北の震災以後、暫く、体育館が使用出来なかったのが、一時期、北浦和のマンションの最上階の一室を借りて稽古しておりました。築年数は古く、階下は普通に生活している部屋なので、大きな声も出せず、受け身も静かにとらないと響いてしまうので、別の意味で神経を使いながら稽古しました。この時ばかりは稽古が出来るのは当たり前

の事ではなく、稽古が出来る事に感謝しなくてはいけないのだと、つくづく思いました。今年も石垣島合宿も行いました。と言うのも、石垣島には桜道場発足よりご指導頂いていた西口哲久師範が移住されているからです。合宿では石垣島の道場の方と一緒に稽古して、直会では大いに呑みました。遠く離れている人も、一緒に稽古をすれば、直ぐに打ち解けられ、合気道の人と人との繋がりを感じたひと時でした。

私は、桜道場の一期生です。40歳の時に何か人生の軸になるものが欲しいと思っておりました。丁度その時に目にしたのが、市報に出ていた合気道教室の募集案内でした。不安なまま初心者教室に通いましたが、稽古後の何とも言えない清々しさにすっかり虜になってしまいました。気が付いたら、あつという間に5年が過ぎていました。未経験者ばかりの初心者教室から始まった道場ですが、今年、3名の初段が誕生しました。これからも地域に根差し、合気道を通して、心と体を鍛えていきたいと思えます。今後とも合気道桜道場をよろしくお願ひ致します。

(石川豊治)

【さいたま市】 ビタース合気道クラブ

このたびは埼玉県合気道連盟創立30周年の節目の年に加盟させていただき運びとなり、会員一同大変喜んでおります。7月1日(日)開催の記念合同講習会及び懇親会にも早速参加し、連盟の一員として一步を踏み出させていただきました。

当クラブは平成20年春に発足し、現在会員は小学生5名を含む男女約14名で、原則毎週日曜日15時〜子供同士・大人と一緒に取混ぜ稽古しています。活動場所のさいたま市大宮体育館は東武野田線大宮公園駅又は大和駅下車徒歩13分・自然が豊かで澄んだ空気が広がっているからと命名された見沼区の西端に位置しております。指導責任者は現在さいたま市北区にある大宮百合幼稚園を卒園し、高校一年時に見沼区に転居後各地居住を経て現在見沼区に住居を構えております。

目指すところは相手と対峙することを超えしすべてのものと自己との同化を目指す東洋哲学思想を武道の稽古という実践的な方法を用いること



によって、宇宙の根源的エネルギーを現代に活かすものにすべく命の力の在り方と使い方を研究し、幅広い年齢層の方々が各人有意義に生き活きと稽古を中心とした活動ができることです。この理念をイメージしてビタース合気道クラブと命名させていただきました。

具体的な稽古内容としては、日常生活のなかに取り入れることのできる呼吸法・体捌き等を重視し、現在は場所にも余裕があるので剣杖の稽古についても初心者の方の段階からとりいれ、



子供には体力及び柔軟性を向上すべく、基本技を中心に実施しています。道場での稽古は週一回でも自宅等の個人稽古も合わせて上達でき、一面は仕事や学業と両立しやすく敷居の低い町道場、他面は更に道を究めたい人に対しての窓口という位置付けができればと考えています。地域での活動としては、平成18年より継続してさいたま市立大砂土中学校文化祭の体験出前講座の講師を担当しております。今後は地域貢献、国際交流に加えて、次世代の人達に「心法の道」を

現代的に実践する合気道の素晴らしさを伝えていければと思います。

また、微力ではございますが連盟活動に参加し、合気道界に貢献させていただきたいと思っております。諸先輩道場の皆様、何卒御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

(大北純一)

【川口市】 JI合気会

JI合気会は平成18年4月1日に鍋島信也と山崎博司が実践に役立つ合気道を主眼とした会を設立したのが始まりです。本年より連盟より承認を受け、晴れて埼玉県合気道連盟の会員となりました。

指導方針としては、

- 一、礼儀作法と実践に役立つ合気道を身につける。
- 二、合気道の稽古を通して親子、兄弟、友人とのスキンシップをはかり、良い家族、友人関係をつくる。
- 三、将来、国内外に羽ばたく若人に日本独自の武道である合気道を身につけさせ、誇りと自信を持たせる。

四、女性や子供は合気道の技を身につけ防犯とメタボ解消に役立てる。

五、壮年者はいつまでも若々しく足腰と脳の活性化をはかる。を掲げております。

稽古場所は川口市の十二月田中学校の柔道場を使用し、毎週月曜日と木曜日の19時〜21時まで稽古をしています。下は小学校3年生から上は70歳以上の幅広い年代層の方々が経験の有無にかかわらず、親子、兄弟、友人同士で楽しく稽古に励んでいます。JI合気会の基本稽古の特色は、大人と子供を分けることなく同じように指導することです。

これにより小学校3年生が半年か



ら一年でほとんどの基本技を覚えます。基本技は同じ技ばかりが重複しないよう注意しながらカリキュラムに沿って指導しています。自由時間にはパンチや蹴りなども教えつつ、その防御方法を指導しています。

埼玉県合気道連盟の一員として、今後ともJI合気会をよろしくお願い致します。

(鍋島信也)

◇◇◇ 2013年度 埼玉県合気道連盟 行事予定 ◇◇◇

- 常任理事会：1月27日（日）
時間：15:00～17:00 場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 会議室
- 常任理事会：3月3日（日）
時間：15:00～17:00 場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 会議室
- 第29回埼玉県少年少女錬成大会：4月21日（日）
時間：14:00～16:00 場所：和光市総合体育館
- 定例理事会：4月28日（日）
時間：15:00～17:00 場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 会議室
- 定期総会：6月2日（日）
時間：15:00～17:00 場所：フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 多目的ホール
- 第31回埼玉県合気道連盟合同講習会：7月7日（日）
時間：14:00～16:00 場所：さいたま市大宮武道館

※予定は変更になる場合がございます

彩のなでしこ

NADESHIKO

浦和合気会 天海江里子

浦和合気会は、稽古に入る前に、打ち方の素振りをします。静止の素振りから打ち込みの素振りへ。丹田に気を入れ、足音は立てず、上虚下実の状態です。素振りできているかどうか、体のバランスをチェックします。素振りでは心静かにできますが、稽古が始まり、相手を前にすると呼吸が乱されて姿勢が崩れてしまい、そのまま技に繋げようとすると、余計な力が入ってしまう時があります。動きの中で、相手の『気』を感じとるためには、どれほど自分自身が無心でいなくてはならないかを思い、心身が固くなっていることに気づきます。合気道は、受けも取りも形がありますから、馴れ合いに稽古を



※このコーナーでは県内の女性合気道家をご紹介します。
自薦・他薦を問いませんので各道場よりのご応募をお待ちしております。

することはいいくらでも出来ますが、相手と対し、触れ合った瞬間から技に至るまで、自身の心がどういう状態しているのかを常に見つめることで、体格差のある人との稽古にも創意工夫の発想が生まれ、形の稽古では、相手と気合わせをすることで呼吸力が鍛えられ、練りの稽古では柔軟性や応用力を養うというふうに、無限の可能性を持つ稽古に繋がって行けるのではないかと思います。五輪書に『心は体につれず、体は心につれず』という言葉があります。どのような時も、心の状態が冷静でいられるように心掛けることは、合気道の中だけのことでなく、日常生活でも同じではないでしょうか。

日々の稽古を通して、合気道の奥深さに触れ、難しさに壁にぶつかることもあります。試合がなく勝敗を求めないからこそ、「道」を探求していける武道なのだと思います。『気付きがあるから進化がある』といいます。一つ一つの稽古を大事に、これからも精進していきたいと思っています。

「彩の合気」への 投稿をお待ちしています。

- 道場行事報告／原稿 1,000 文字、写真 2 点
 - 彩のなでしこ／合気道への想いを原稿 800 文字、写真 1 点
- ※画像はプリント写真もしくは写真 1 点あたり 2MB 以上のデータでお願いします。画像解像度が低いと印刷に適応いたしません。
(プリント写真はご返却いたします。)

応募は郵送またはメールにて

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 5-4-26
埼玉県合気道連盟事務局 佐々木淳一
メールアドレス sasaki.junichi@jcom.home.ne.jp